

辺野古埋め立て土砂搬出反対ニュース

北九州連絡協議会《2015年12月11日・No36》

連絡先…森下宏人 090-9495-3902 八記久美子 080-1730-8895



《八記久美子の沖縄報告・その3》

日常生活の上を戦争のための飛行機が飛ぶ異常 沖縄を真に平和な島に

普天間基地の回りを、徒歩とバスで一周しました

■体感したいと

基地の回りで生活するとは、どんな事なのかと思い、ともかく普天間基地に行ってみました。そして、基地の回りを歩き始めました。

くたびれたら来たバスにのり、スマホのGPSを見ながら、基地から遠ざかりそうになったら下りて、また歩きました。そんなこんなで、3時間。

びっくりしたのは、学校の多いこと。普天間高校の前を歩いているときは、丁度下校時間だったので、学生達がバス停にいっぱいいました。ある本にあった「小学校の授業では45分の授業のうち5分は騒音の影響によって授業を中断させられる、それは義務教育期間(9年間)中の1年分の授業を無駄にする」の一節が、頭に浮かびました。

■異常ですよ

歩いていると、時々爆音をたててヘリコプターがとびます。沖縄の人々の日々の平和な暮らしの上を、戦争のための飛行機が飛ぶ…。異常としか言いようのない状況が、目の前にありました。



普天間基地を飛び立つオスプレイ



2003年、ラムズフェルド米国防長官(当時)は上空が普天間基地を見て、「事故が起こらない方が不思議だ」と言った。

■見た! オスプレイ

普天間基地の回りを歩いた日は、オスプレイを見ることはできませんでした。別の日に、普天間基地のそばにある「佐喜眞美術館」に行きました。バリバリ音がするので、屋上に行ってみました。音はず〜と聞こえるのですが、姿は見えません。「着陸した後なのかなあ」と、あきらめかけたとき、音が移動し始めました。そして、林の向こうに飛行機の姿が見え始めました。2機のオスプレイです。

オスプレイが完全に姿を現したとき、スーッと垂直に上がりはじめ、飛び去っていきました。沖縄の方から「普天間は若い兵隊さんの訓練基地」と聞いていたので、ぞっとしました。「未亡人製造器」のオスプレイの飛行訓練を、沖縄の人々の日常生活の上で行うなんて…。「そんなことしたらいけんやろう」と、本当に許せんと思いました。

映画「戦場ぬ止み」のみなさんにもお会いしました



北九州では、映画「戦場ぬ止み」を6回上映しました。試写会もしました。私は沖縄でも見たので、合計8回見たことになります。みなさんは私のことを知りませんが、私はものすごく懐かしい感じで写真を取らせてもらいました。左の写真のヒロジさんは、翌日の早朝のゲート前の座り込みの時、2人の逮捕者がでて、それに抗議していて同じく逮捕され、二日後釈放されました。



私は、テント村に行くのに「トイレはどうなってるんやろか」と、心配していましたが、心配無用でした。写真の車が頻繁にまわってきて、車で2分くらいのコンビニに連れて行ってくれます。お弁当もそこで買います。また、車が着いたら、左写真のようにお知らせがあるので、本当に安心でした。スタッフの皆さん、ありがとうございました。



ゲートからほんの少し歩いたところにある、辺野古ダムとそこから流れ出る美謝川(みじゃがわ)。この美謝川の扱いが決まらないと、基地建設の最終計画が決まらないというネックになる川です。

最後に寄ったのは、県庁から歩いて15分くらいの「不屈館」。ここは瀬長亀次郎の資料館です。写真の方は、瀬長亀次郎の次女の方。亀次郎の家は、刑務所の横にあるため、独房に入れられると家の屋根が見えて元気になるので、亀次郎はこの独房が大好きだったそうです。戦後の米軍政下で弾圧に屈せず、住民の先頭に立ってたたかい抜いた瀬長亀次郎。不屈館には、それはそれは、たくさんの資料が展示されていました。

「弾圧は抵抗を呼び、抵抗は友を呼ぶ」の亀次郎の言葉は、まさに、今の辺野古の闘いを言い表しています。



みなさんへ・・・

辺野古に行って、この斗いを肌で感じてみませんか。ニュースだけでは伝わらない、沖縄の「今」が分かります。

「テント村に行きたい」「座り込みに参加したい」「舟で大浦湾に出たい」「高江に行きたい」などで、名護に行かれる場合は、共同センターに依頼すれば、便宜を図ってくれます。下記が共同センターの連絡先です。



新基地建設反対名護共同センター

〒905-0011名護市字宮里447-20 丸平第2アパート102号

TEL0980-54-8555 FAX0980-54-8556

Email nago.kyodoc@bird.ocn.ne.jp

《ついでの情報》

私がまわった範囲での沖縄の感想の一つに、「街路灯がほとんどない」がありました。キャンプシュワブの早朝の座り込みに参加した日は、5時40分にホテルを出ましたが、真っ暗です。家の明かりや自動販売機があったので、助かりましたが……。私が名護市で泊まったホテルは、共同センターまで徒歩1分のホテル「ゆがふいんおきなわ」。近くて良かったと思いました。早朝の座り込みに行く日は、ホテルの朝食は食べられません。

沖縄レポートは、これでおしまい。